

第44号

こうろく

～晃麓～

発行所: 栃木県日光市板橋2610-1

社会福祉法人 すぎなみき会

発行責任者 理事長 峯山 敏正

令和3年8月10日発行

Tel: 0288-27-3100 Fax: 0288-27-3700

E-mail: sugigaku@hyper.ocn.ne.jp

URL: <http://www.suginamikikai.jp>



Photo by Tokyo 2020

みどりのきご利用 苅屋瑛土様 聖火リレー

目次

特集

コロナウイルスワクチン

接種状況… 2

星に願いを … 3

施設長だより・

副施設長コラム… 4

梅の実&みつみね通信 … 5

すぎなみきトピックス … 6





コロナウイルスワクチン接種状況

皆様いかがお過ごしでしょうか。令和元年12月に新型コロナウイルスの感染が確認されてから、早くも1年半が経過しました。マスクやインターネット等で様々な情報だけが交錯し、何が正しいのか自分がどのように振舞えば良いのか不安になった方も多かったと思います。そんな中、ウイルスに対するワクチンが開発され、令和3年2月から接種が開始となりました。

一般の方もなかなか申し込みの予約が取れず難儀しているニュースが聞こえてきますが、当施設は嘱託医と関係医療機関のご協力、連携により6月3日から医療従事者の職員と、65歳以上の利用者様を皮切りに、次々とワクチン接種を開始する事ができました。



利用者様は、6月29日(火)にスタートし、まず60名(みどりのき通所25名、GH35名)に1回目の接種が行われ、こちらの方々は2回目の接種を7月20日(火)に行いました。続きまして、7月1日(木)に24名(入所24名)が1回目の接種を行い、この方々も2回目は7月20日(火)に行われました。続いて7月12日(月)に21名(短期入所、GH)が1回目の接種を行い、2回目は8月2日(月)に2回目が行われました。

職員は6月から接種が開始され、ほぼ全員が終了しました。幸いにも皆さん心配された大きな副作用は出ず、職員一同安堵しているところです。皆様も接種が終了し、利用者様、保護者の皆様も大変心待ちにしている帰省が一日も早く実現出来るように願うばかりです。



課長・看護師 増田 由起



施設クラスターへの対策

※栃木県HPより

施設内での感染防止対策においては、管理者が職員に感染防止についての十分な教育を実施するとともに、職員や利用者様(家族)すべてが感染予防・まん延防止対策に取り組むことが重要です。

クラスターの原因	対策
(職員) 体調不良時の勤務	• 毎日の健康管理の徹底とチェック体制 • 体調不良時に休みやすい環境づくり(特に夜間などシフトの変更を柔軟に)
(利用者) 体調不良時の施設利用	• 施設利用前の健康観察の徹底(利用当日のみではなく、最近の症状を確認)
施設における感染予防・まん延防止対策不足	• 手洗い、手指消毒の習慣づけ • 職員は入浴や食事介助時にマスク着用 • テーブル、ドアの取手等共用部分の定期的な消毒 • 消毒薬の種類や使用方法及び適正な濃度の確認 • 適切な換気の実施 • 感染防護具の正しい着脱方法の習得 • 来所者の健康状態の確認及び記録の徹底

星に

願いを

When you wish
Upon A STAR

7月

七夕会

織姫と彦星が年に一度再会する日、短冊に願いを書いて星に願う日として有名です。七夕は五節句のひとつで、縁起の良い「陽数」とされる奇数が連なる7月7日の夕べに行われるため「七夕の節句」といいます。また、笹を用いて行事をすることから、別名「笹の節句」と呼ばれています。七夕は、中国伝来の【七夕伝説】と【乞巧奠（きつこうでん）】が元となっております。年に一度の逢瀬から、七夕のメインテーマは恋愛だと思われがちですが、ふたりが引き裂かれる理由も再会に至る経緯も、真面目に働く事の大切さを説いた話であることがわかります。

また、元々は七夕と書いて「しちせき」と読んでいました。七夕を「たなばた」と読むようになったのは、日本古来の「棚機つ女（たなばたつめ）」の伝説に由来します。「棚機つ女」とは、神様を迎えるために水辺に設けた機屋に入り、棚機（たなばた）と呼ばれる機織り機で神様に捧げる神御衣（かみみそ）を織りあげる女性の話です。そして、中国の織姫と日本の棚機つ女が結びつき、七夕と書いて「たなばた」と読むようになったのです。

7日（水）に学園、タウン、kidsにて行いました。学園では七夕にちなんだ紙芝居や〇×クイズ、間違い探しゲームを行いました。ゲームの後は、代表の利用者さんに短冊にどんなお願い事を書いたか発表して頂きました。最後に皆で七夕を歌いました。久しぶりの行事で利用者さんは楽しみに参加されていました。タウン、kidsでもそれぞれ趣向を凝らしたゲームを行いました。

そして夕飯は七夕にちなんで、穴子の乗ったちらし寿司、ミニそうめん、ポテトサラダ、水ようかんが提供されました。みんな美味しそうに召し上がられていました。笑顔で召し上がられている姿を見て、職員もつつい笑顔になってしまいました。

学園、タウン、kids、みらいのきの皆さんに短冊にお願い事を書いて頂きました（書くのが難しい方は職員の方で代筆させて頂きました）。

書いた短冊は、笹や部屋に飾りつけしました。一緒に他の七夕飾りも付けていき、一段と笹が華やかになりました。思いを込めた願いが叶う事を祈ります。

それぞれの年代で願い事にも個性が出ました。多かったのは「〇〇が食べたい」「コロナが終わって帰省したい！」等でしたが、その中でも個性あふれる願い事を独断と偏見でピックアップしてみました。誰の願いかばれちゃうかな？

みらいのき

すぎなみkids

すぎなみきタウン

すぎなみき学園

おうたをじょうずにうたえるようになりたいように	水あびがいっぱいできますように	ユーチューバーになりたい	王様になりたい	七つのプリキュアになりたいです	ラクダにのりたい	新しい時計が欲しい	ウルトラマンに会いたい
元気に大きくなりたい	ホタルが見られますように	ウルトラマンコスモスになれますように	じてんしゃにのれるようになりたい	えびとおでんとうどんを食べたい	プログラミングが上手になりますように	横浜流星さんに会いたい	歌って踊って楽しく過ごしたい

施設長だより



コロナ禍での希望

社会福祉法人 すぎなみき会

理事長 峯山 敏正



日頃より当法人及び各施設への御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が益々どまりまるとはならず、まさしく未曾有の事態となっております。全国で緊急事態宣言が発令されており、今だ集団感染の恐れは消えておりません。密を避け、いかなる時もマスクを着用し、大きな声は出せず、飲酒やカラオケ・スポーツ観戦等人々の娯楽は制限されてきました。このような状況下においても、障害の有無に関わらず、一人ひとりの人格と個性を尊重しあいながら共生できる社会の実現に向け、たゆまぬ努力を続けていくことが重要であると思います。

希望としてはようやく日本国内でもワクチン接種が進められた事です。すぎなみき会においても利用者様及び職員が皆ワクチン接種を進められるよう、嘱託医や関係医療機関と連携してきました。職

員、利用者様共に、6月より摂取を開始できる運びとなりました。

また1年越しに、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。直前まで賛否が問われ、開催が危ぶまれていましたがとりあえず今の段階では無事に開催されました。今後どのような状況になるかは誰にもわかりませんが、今ある環境で可能な限りの設備・対策を講じている関係者の皆様には頭が下がる思いです。日本のみならずオリンピック・パラリンピック問わず世界中のアスリートの皆さんの努力の結晶の成果をぜひ発揮して、日々不安に感じている世界中の方々に勇気と希望を与えていただきたいと思います。

パラリンピックのようなイベント時だけの注目ではなく、日常の中でも、障がい福祉に関心を持っていたら、誰でも、どこでも、どんな時も胸を張って楽しく生活できる社会ができるのを願って止みませんし、また作っていくのも我々の大きな責務だと感じております。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



副施設長



もう少しの我慢です

すぎなみき学園

副施設長 井上 憲一



全国における新型コロナウイルス新規感染者の発生状況は増加に転じています。

重症者数、死亡者数は減少しています。また、新規感染者に占める高齢者の割合は低下しており、高齢者からワクチン接種が開始された結果が出ています。このペースでワクチン接種が進めばマスク無しの生活も遠からず実現する事でしよう。

コロナ禍で職員はもちろん、施設利用者様、そしてご家族の皆様は「我慢」が続けています。例えば当施設では、面会は一時「全面中止」とさせて戴きました。現在も窓を隔てて内側と外側での面会となっています。

そして利用者様の「楽しみ」である外出や旅行も中止している状況です。また、ボランティアの方々にお世話になり実施していた行事も施設内行事に切り替えて

実施しており「交流」の機会も無い状況となっています。

こんな中でも利用者様の楽しみの一つである「食事」を工夫する取り組みを行っています。すぎなみき学園厨房の「和の鉄人」が握る「握り寿司」には入所利用者の皆さん大喜びでした。今後も様々な工夫をして楽しんでもらいたいと思います。

ワクチン（ファイザー社製）の接種状況は、接種を希望する職員、入所及び通所を含む希望する全利用者様の接種を8月2日に終了することができました。早い段階でワクチン接種が実現できた事はひとえに嘱託医である「医療法人矢尾板記念会」様、並びに日光市地域医療の拠点である「社団医療法人明倫会 今市病院」様のおかげと感謝いたします。

今後は全国の新型コロナウイルスの新規感染者状況等を見て、「我慢」していた外出や旅行、様々な交流、面会並びに帰省の再開を判断して参りますので、関係者の皆様には引き続きご理解とご協力をお願い致します。



制度改正の際に注意すること

梅の実・梅のはな

みつみねの郷

施設長 峯山直巳



今年度から、障害
福祉サービス・高齢
福祉サービスの制度
改正があったのは、

ご存知のことかと思えます。

ここ最近、制度改正の対応に追われて
おりました。年々、制度改正時に確認し
なくてはならないことが増えておりま
す。改正時には、やることは増えても、
業務が減ることはあまりないのが現状で
す。当施設では、業務負担過多にならな
いように、以下のことに気を付けていま
す。

・利用人数の実績数は請求データ基本
とし、共有できる場所にデータを蓄積す
ること。

・普段の業務に確認作業を組み込むこ
と。
・普段の業務に職員の学ぶ機会を導入
し、職員のスキルアップに繋げること。

●施設の資源は限られている

施設の資源（職員・予算等）は有限で
す。当たり前の話ではありますが、その
ことをわかっていないと現場の生産性は
上がりません。

当施設では

①重要でなくなった業務はやめてい
く。または、見直しをしていく。

②単純な作業は、コンピューターなど
で代替できないか検討する。

③書類作成などで、重複している業務
は、基本データを共有し、書類作成のス
ピードアップを図る。

これらの視点を取り入れて、仕事にか
ける資源が枯渇しないように注意してい
ます。

●仕事の基礎体力を上げる

職場の生産性を上げるために、職員の
『仕事の基礎体力を上げる』ことにも取
り組んでいます。

無理のない範囲で、誰もがパソコンに
触れる機会を提供し、得意でない職員も
触るようにしています。また、最近では
施設に蓄積したデータを使い、研修を行
うようにしています。

情報があふれる今の時代、職場の資源
を大切にしながら、乗り越えていきたい
と思います。



上半期の行事のご様子です。



すきなみちトピックス



3月24日に栃木県遊技業協同組合様から車椅子を2台頂戴いたしました。これは社会福祉法人栃木県社会福祉協議会様を通して、申し込みのあった栃木県内の障がい者施設に贈呈されるもので、当施設も高齢化、持病による機能低下、障がいの重度化等により自立歩行の不安定な方への使用という事で申し込みさせていただきました。車椅子の増台により自立歩行不可になったとしても住み慣れた施設でこれまでと変わらぬ生活を送っていただけたらと思います。



頂いた車椅子。大事にします！



五光様贈呈式

また5月13日、宇都宮市の「五光」様より、500ml入りの手指消毒液240本を頂きました。五光様には日光の道の駅「日光街道ニコニコ本陣」のカルフルキッチンと本陣カフェでお世話になっております。

消毒液はこまめに使用しますので大変に助かります。まことにありがとうございます。

ありがとうございます！

調理のお知らせ

厨房より愛を込めて



すでにご紹介済みの七夕会の他にこちらのようない行事食がありました。外出が難しい中で、出来る限り季節の流れや年中行事が感じられる楽しい食事をご提供できるように努力していきたいと思っています。



3月3日 ひなまつり

海鮮丼、すまし汁、茶わん蒸し、おひたし、いちごのムース



4月9日

ご飯、すまし汁、刺身盛り合わせ、炊きあわせ、プリン



5月5日 こどもの日

寿司（ローストビーフ、いなり）、ミニうどん、茶わん蒸し、クレープ



6月18日

天丼、とろろ昆布のすまし汁、茶わん蒸し、カルピス寒天

編集後記

今回の表紙のキャッチコピー「感動で、私たちは一つになる」は2020東京オリンピックのスローガンを引用させていただきました。パッと見ると気恥ずかしくなるようなベタなコピーですが、スポーツを通すと実際に素直に感動してしまうのが凄い所です。猛暑の中ですが皆さん体調に気を付けて、涼しい部屋でテレビの前で応援しましょう！

広報誌担当

岩崎 大島(有) 大島(美) 出井 大貴

ters/

<https://2020.ntt.jp/tokyo/torch/torchbearers/>

御覧の通り、今号の表紙写真は、現在通所みどりのきご利用の苅屋瑛土様のお母様よりご提供いただきました。3月29日に聖火ランナーとして、お母様の伴走で栃木県内の壬生町区間に参加、立派に走り切って聖火をリレーしました。日頃よりお二人で12キロ程のランニングをなさっているそうです！お母様が聖火リレーに応募した時のコメントがNTTのオリンピック公式ホームページに掲載されていますので、そちらも是非御覧になって下さい。

